※令和４年度以降入学生用

学校番号	C2101

令和５年度　理科

科目	地学基礎	単位数	２	必要Ｓ出席数	８
使用教科書	地学基礎（東京書籍）				
副教材等	なし				

	年間	１範囲	２範囲	３範囲
レポート	６枚	２枚	２枚	２枚
スクーリング	１８回	７回	６回	５回
テスト	３回	○	○	○
課題・実習等				

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

第１範囲は宇宙の構造を基本に、宇宙の起源や進化について学習します。また、太陽をはじめとした恒星の進化の仕方について、そして、地球の変遷と生物の進化などについて学習します。

第２範囲は地球の構造について学習します。火山、地震、地殻変動などのメカニズムについて学習し、あわせて防災意識を高めていきます。

第３範囲は大気について気象要素を基本に、毎日の気象現象から四季の変化を学習します。また、海洋も含めて地球のシステムについても学習し、自然環境や地球環境問題について考えます。

化学式や計算はほとんど出てきませんが、とても桁の大きな数値を扱います。

２　学習の到達目標

日常生活や社会との関連を図りながら地球や地球の取り巻く環境への関心を高め、目的意識をもって、地学的に探究する能力と態度を育み、地学の基本的な概念や原理、法則を理解し、科学的な見方や考え方を身に付ける。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	地球や地球を取り巻く環境について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。 日常生活や社会との関連を図りながら、地球や地球を取り巻く環境について科学的に探究するために必要な観察・実験などに関する基本的な技能を身につけている。	地球や地球を取り巻く環境に関連する事物・現象の中に問題を見い出し、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	日常生活や社会との関連を図りながら地球を取り巻く環境について関心をもち、意欲的に探究しようとする。

- 学習指導要領（第１章第７款の４）に則り、ラジオ・テレビ放送その他の多様なメディアを利用して行う学習による面接指導時間数の免除（面接指導の時間数のうち 10 分の６以内の時間数を免除）の制度を活用する。
- 学年末に５段階で評価する。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

範囲	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
第Ⅰ範囲	地球について	大地とその動き 地震 火山	a: 誤答の数、誤字、脱字の有無。記述の丁寧さ。 b:地学現象とプレート運動との関連づけた学習 c:ＤＶＤ教材の視聴態度と岩石標本の観察。 d:復習プリントの自主的な学習と定期テスト	・定期考査 ・メディア学習（学習報告書）	・定期考査 ・メディア学習（学習報告書）	・レポート ・スクーリング ・メディア学習（学習報告書）
第Ⅱ範囲	宇宙の進化・地球の変遷	宇宙の構造と進化(1) 太陽と惑星 生命の変遷 地層や岩石の観察	a:誤答の数、誤字、脱字の有無。記述の丁寧さ。 b:宇宙の誕生と太陽系の一生、惑星としての地球との関連づけた思考力 d:復習プリントの自主的な学習と定期テスト	・定期考査 ・メディア学習（学習報告書）	・定期考査 ・メディア学習（学習報告書）	・レポート ・スクーリング ・メディア学習（学習報告書）
第Ⅲ範囲	地球のこれから	地球環境の考え方 自然環境の変動 日本の自然環境 これからの地球環境	a: 誤答の数、誤字、脱字の有無。記述の丁寧さ。 b:自然環境の変化の要因について考える力。 d:復習プリントの自主的な学習と定期テスト	・定期考査 ・メディア学習（学習報告書）	・定期考査 ・メディア学習（学習報告書）	・レポート ・スクーリング ・メディア学習（学習報告書）

※　表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度